

1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会の安寧秩序を著しく不安定にするような戦闘，暴動，凶悪犯罪等は認められず，また5月にハノイ市内などにおいて大規模な反中国抗議活動が全国的に取り組みられたものの，その後同様の抗議行動の発生は確認されていない。
しかし，南シナ海問題は現在も燻っており，今後の越中両国の情勢如何では，再び中国に対して同様の抗議活動が行われる可能性も否定出来ず，予断を許さない状況にある。
- (2) 当地は共産党による一党体制で政権は安定しているといえる。期間中，第13期国会常務委員会第29回会議が行われ，第13期国会第7回会議の評価と第13期国会第8回会議（本年10月開催）の準備作業が行われた。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 当地では，犯罪発生状況に関する公的な統計を閲覧できるインフラは整備されていないが，日常，凶悪事件を含む犯罪の発生が報じられない日はなく，一般犯罪及び凶悪犯罪ともに断続的に発生していることが認められる。また近年，薬物密輸・密売事件の検挙報道が増えており，大麻や合成麻薬を始めとした薬物がベトナム国内に蔓延してきていることが窺える。
- (2) 邦人被害事案
 - ア 休日，家族とともにハノイ市内の動物園を訪れていた邦人が，園内にある乗り物に乗車するため，列に並んでいた際，何者かにズボンから財布を抜き取られるスリの被害が発生している。
 - イ 路線バスに乗車中の邦人観光客が，所持していたバックから携帯電話（iPhone）を盗まれるスリの被害が発生している。
 - ウ 当地に滞在中の邦人が，店舗兼住宅となっている自宅部分から，現金等を盗まれる空き巣被害が発生している。
 - エ 当地に滞在中の邦人が，ハノイ市内において自転車で走行中，危険な運転をする車両を注意したところ，車両から降りてきた男性にいきなり顔面等を殴打される傷害の被害が発生している。
- (2) 邦人以外の被害事案
 - ア 8月初旬，ハイズオン省に居住するベトナム人男性が同居する家族4人を自宅で殺傷する殺人事件が発生している。
 - イ 8月初旬，ハノイ市内の路上において，車両を運転中のベトナム人男性が，バイクに乗った男性に銃撃され，死亡する殺人事件が発生している。
 - ウ 8月中旬，ハノイ市内ホータイ地区において，歩行中のスペイン人女性が，2人組のベトナム人男性に現金や携帯電話（iPhone）在中のバックをひったくられるという窃盗事件が発生している。犯人は直ぐに検挙され，薬物を買うための金

欲しさに犯行に及んだと供述している。

エ 8月中旬、ハノイ市内ホータイ地区において、タクシーに乗車していたフィンランド人女性が、タクシー料金のことでベトナム人運転手と口論となったことから、同タクシー運転手に所持していた携帯電話（iPhone）をひったくられるという窃盗事件が発生している。

3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ事件の発生については認知していない。

爆弾事件については、北中部ゲアン省ギーロック郡の道路を走行していた直距離バスの車内で、所有者不明のスピーカーが爆発し、運転手ら3名が重軽傷を負う事件が発生している。その後の捜査で、犯人は検挙されており、ビジネスによる怨恨から手製の爆弾を製造し、相手に送りつけていたことが判明している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐事件の発生は認知していない。

ベトナム人については、日常的に人身売買事件の発生や検挙が報じられており、その中には、幼児を誘拐する事件も含まれている。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

(1) 日本企業に対するストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

(2) 8月中旬、北部バクニン省において、不動産や建築業を営んでいるベトナムの会社2社に対し、当地官憲が約100人体制で家宅捜索を行い、けん銃やグレネード弾などの武器を押収するとともに会社社長を含む9名を逮捕したと報じられた。この会社は、薬物を含む密輸や武器の売買及び人身売買を行っていたことが判明している。

(3) 9月中旬、ハイフォン市内において、麻薬患者専用のリハビリテーション施設から400人を超える薬物依存者が市街地に繰り出し、自らの待遇改善を訴えるデモ行進を行い、大半の者がその日の内に施設に戻ったと報じられた。同施設は、薬物依存者専用の任意のリハビリ施設であるが、月々の入所手当て減額及び入所期間の延長が施設側から発表されたことに不満を持ったためのデモであったことが判明している。